

移住促進団体活動推進事業

伝統工芸と移住者をつなぐ、  
未来づくり継業支援事業

NPO法人ORGAN 蒲勇介

## 目的

- 岐阜と長良川流域の伝統産業を対象として、「ものづくり」に関心のある移住希望者に向けた魅力発信と受け入れ態勢づくりを実施する。

# 昨年度の成果

順調に修行が進んでおります。



傘骨職人：Mさん  
(広島から移住)



ロクロ職人：Kさん

# ぎふ灯り物語





## (1) 伝統産業事業者9事業者にヒアリング

- マルト藤沢商店(和傘)
- 平野明博商店(和傘)
- 高橋和傘店(和傘)
- 今日和(和傘)
- 長屋木工所(和傘・ロクロ)
- (株)オゼキ(提灯)
- (株)浅野商店(提灯)
- 服部修(川漁師)
- 平工顕太郎(川漁師)

# 岐阜和傘

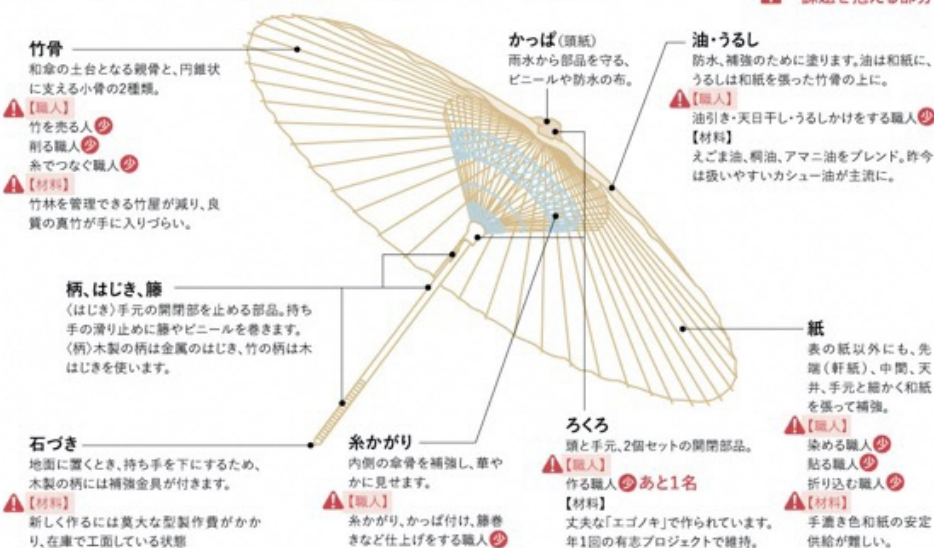
## 国産和傘の繊細な美は別格。けれど制作工程が多く、いまや存続の危機に。

日常では珍しい和傘ですが、歌舞伎・舞踊・神事など和の文化には欠かせません。繊細な和傘づくりの技を残すことは、和傘生産数日本一である岐阜の大きな使命です。

岐阜和傘づくりは江戸時代初期、加納藩(現・岐阜市加納)で、貧しい下級武士の内職として発展しました。ここにはよい材料が豊富にあり、より細く美しくと各工程の職人が競いあう和傘のまちとなりました。しかし洋傘の出現とともに、いまでは数千本にまで生産数が減っています。

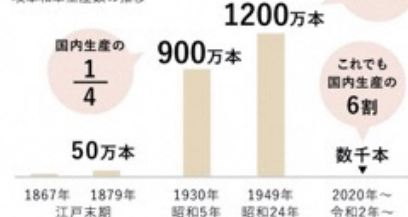
### 和傘のパーツから見る、未来への課題

▲ = 課題を抱える部分



### 岐阜和傘のいま

岐阜和傘生産数の推移



### 生産者の課題

- 一人で製作するため、後進を育てるお金と時間と場所がありません。また、ほかの工程の職人も必要。
- 一人前になるまでのお給料が出せない。
- 手本となる職人が、高齢でいなくなる。

### 市場の課題

- 国産和傘は幾何学美があり、緻密で丈夫です。しかし観光地や通販で数千円の和傘はほぼ中国製。粗い作りで壊れやすく、国産和傘との差は歴然です。日本の技の美を多くの人に知っていただくことも、岐阜和傘を守る一歩になります。

### 動き出した希望

2020年に岐阜和傘協会が設立され、骨職人、ろくろ職人の後継者育成が始まりました。育成資金を募るクラウドファンディングでは、全国の方に現状を知っていただき、約700万円が集まりました。

ろくろの材料に欠かせない「エゴノキ」ととる人が途絶え、生育地もいったん謎になりました。全国の和傘職人、関係者、地元の森林木工の専門学校の講師、学生、地元の林業の方々のボランティアで2011年に『エゴノキプロジェクト』が発足し、年に1度、岐阜の森へ伐採に行き、継続しています。

### みんなで考える宿題は？

- 職人を育てよう  
たくさん生産されないと職人が本業にできません。作ることで磨かれる技なので、本職にできないと技術向上が難しくなります。
- 材料を守ろう  
素材の代えがきかないので、材料が手にはいらないと和傘作りが続けられません。
- 国産和傘の良さを知ろう  
中国製ではなく国産の「和傘」を見る機会を多くの方に増やしましょう。



文/河口郁美 写真/アーウィン・ウォン 取材協力/株◆◆◆◆◆あああ、有◆◆◆◆◆いーいーい

## (2) 技術を継承するための研修カリキュラム作成

- 岐阜和傘の歴史、文化を学ぶ
- 和傘の取扱い、和傘の種類・仕様、岐阜和傘の特徴について学ぶ
- 和傘仕上げ工程(実技)を学ぶ



### (3) 伝統産業の仕事を伝える映像の作成と公開

- 舟大工：那須清一氏
- 長良川漁師：服部修氏
- 長良川漁師：平工顕太郎氏
- 和傘職人：田中美紀氏
- 和傘職人：河合幹子氏

Youtubeチャンネル『和傘CASA』にて公開

# (4) 研修カリキュラム受講者の募集

## ・岐阜和傘職人組み立て職人募集・面接審査



**研修内容**

**【途中】**

- ① 岐阜和傘の歴史・文化について
- ② 和傘の種類・仕様、岐阜和傘の特徴について
- ③ 岐阜和傘職人・職人との交流

**【実習】**

- ① 「繰り込み(つらみ)」の研修  
職人の指導を受けつつ、手元ロクロに少量をあててつらみと小骨をつなぐ
- ② エゴノキプロジェクトに参加
- ③ 「簾巻」の研修  
柄の持ち手部分に簾を巻きつけ石炭を付ける
- ④ 「糸かがり」の研修  
内側の小骨の穴に針をあて通し縫製する

**応募条件**

- ◆年齢:18歳以上~30代くらいまで
- 7Fで体力に自信がある方 ○万物などの扱いが得意な方
- 車検作業が得意な方 ○木工、竹細工に興味のある方
- 車検のように見えて、施工工程の職人さんや顧客のニーズに合わせて的確に対応・製作する力が求められます

**応募方法**

- ①市販の履歴書に必要事項を記入
- ②写真も一緒に添付する(写真、メールアドレスを必ずご記入下さい)
- ③お申し込み【応募期間:先着10名(9/29)締め切り(形式は自由)
- ④②を下記へ郵送【21日(月)必着】

〒500-8009 岐阜県岐阜市津町29 和傘CASA

**採用後の働き方**

【勤務場所】岐阜県岐阜市津町29 和傘CASA  
 【時給】800円 ◆週3~4日程度 ◆土日勤務  
 ◆研修期間:11:00~18:00(研修含む) ◆雇用保険、労災加入

長良川流域とは アクセス 流域をめぐる旅 読み物

みる あそぶ たべる かう とまる

**和傘組み立て職人の見習いを募集します!!**

日本一の和傘の産地、岐阜。和傘といえは京都や金沢など古都を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、岐阜は国内生産の3分の2以上を担う江戸期から続く一大産地で、昭和初期のピーク時には年間1千万本を超える和傘が生産されていました。

ライフスタイルの変化とともに産業従事者は減少・高齢化し、現在では岐阜、ひいては日本の和傘づくりが危機に瀕しています。

伝統芸能や神事など日本文化には欠かすことの出来ない和傘産業を守るために、日本最大の産地である岐阜市では「岐阜和傘協会」を設立し、熟練の職人さんの全面協力のもとロクロと傘骨職人の育成を行ってきました。

新たな伊吹によって少しずつ開けてきた和傘産業の未来をさらに確かなものにするために、今年度は和傘の組み立て職人の見習いを募集します!

部品の職人の手で生み出された部品一つ一つを「繰り込み」「つなぎ」「簾巻」「糸かがり」といった工程を経て組み上げていく組み立て職人はまさに、和傘に関わる人々を「つなげる」存在。今年度は座学やエゴノキプロジェクトへの参加、先輩職人との二人三脚での実技講習を通して一つ一つの行程の基礎を学んでもらいます。

小瀬 岐阜市  
初心者でも簡単！オシャレな職人に見える、和傘の普段使い  
2018.01.01

小瀬 岐阜市  
和傘 小瀬 岐阜市  
使い込むほどに馴染みになる!? イチオシ船グッズをご紹介  
2017.10.08

小瀬 岐阜市  
和傘の体験ができる新スポット「長良川手しごと町家CASA」始動!  
2018.01.01

小瀬 岐阜市  
和傘 小瀬 岐阜市  
実技 伝統印刷 着物  
「人生は一本の線」。  
105歳の現役美道家・

募集介さんがリンクをシェアしました。

📌 開催中 2020年6月4日

<和傘組み立て職人の見習いを募集します!>

部品の職人の手で生み出された部品一つ一つを「繰り込み」「つなぎ」「簾巻」「糸かがり」といった工程を経て組み上げていく組み立て職人はまさに、和傘に関わる人々を「つなげる」存在。今年度は座学やエゴノキプロジェクトへの参加、先輩職人との二人三脚での実技講習を通して一つ一つの行程の基礎を学んでもらいます。

TESHIGOTO CASA  
和傘組み立て職人の見習いを募集します!!  
日本一の和傘の産地、岐阜。和傘といえは京都や金沢など古都を思い浮...

インサイトを見る 1,595 投稿のリーチ

あなた、森 伸子、森 祐祐、他27人 シェア3件

いいね! コメントする シェア

公開コメントを入力...

## (5) 面談と採用

- 応募者：2名
- 採用者：Nさん 30歳女性 岐阜市在住

## (6) 研修の実施及び運営

- 実技講師：K氏(和傘職人)
- 座学講師：河口郁美(和傘CASA店長)
- 研修日：毎週月曜、金曜、日曜
- 時間：11：00～18：00
- 時給：900円(雇用保険、労災加入)

## 【研修内容】

### a.座学研修

- 岐阜和傘の歴史、文化について
- 和傘の種類・仕様、岐阜和傘の特徴について
- 

### b.実技研修

- 和傘仕上げ工程
- 繰り込み・つなぎ
- (頭口ク口に親骨を糸でつなぐ。手元口ク口に小骨を糸でつなぐ。  
親骨と小骨をつなぐ)
- 籐巻 (柄の持ち手部分に籐を巻きつけ石突きを付ける)
- 糸かがり (内側の小骨の穴に針で糸を通し補強する)

### c.エゴノキプロジェクトに参加

- 和傘を開閉するための部品『ロクロ』の材料であるエゴノキを伐採する活動に参加。和傘の材料についての知識を深め、岐阜および全国の和傘関係者との交流を図る。
- 日時：令和2年11月22日(日)8：00～15：00
- 場所：美濃市瓢ヶ岳

### d.岐阜和傘専門店『和傘CASA』にて接客研修

- 市場の需要、動向を知る。
- 和傘の知識を伝えられるようにする。



## (7) その他

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、特に受入事業者側の意向に配慮し、各所と調整の上、近隣圏を中心とした募集・採用を行なった。

# 今後の取組方針

## ① 事業者の課題抽出の継続

- ・継続的にヒアリング等を実施し、課題の抽出及びその解決に向けた事業設計に取り組む

## ② 人材の募集・育成

- ・本年採用した人材の育成に継続的に取り組み。職人としての独立を目指す
- ・①で抽出した課題を踏まえ、必要に応じて新規人材の募集・育成に取り組む

## ③ 移住者増に資する生業づくり

- ・本年度の成果も含め、上記の取り組みを通して、長良川流域の伝統工芸産業の活性化をはかり、新たな生業を創出。広くPRを行い、意欲ある移住希望者を本県へ呼び込む。